

平成30年度地域ケア会議実施内容の報告について

1 開催回数

単位：回

	富坂	大塚	本富士	駒込	合計
地域ケア個別会議	4	2	3	4	13
地域ケア連絡会議	2	3	3	2	10

※地域ケア個別会議：何らかの課題を抱えた個別ケースについて、本人への支援に関わる総合的な内容について検討。

【機能：個別課題解決、ネットワーク構築、地域課題発見】

※地域ケア連絡会議：地域ケア個別会議の積み重ねから地域課題を抽出し、圏域単位の地域づくり・資源開発による地域課題の解決に向けた検討。

【機能：ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくり・資源開発】

※ 富坂の地域ケア個別会議4回のうち2回は、検討する事例を選定する事例確認会。

2 個別会議の開催状況まとめ

圏域	検討した個別事例	個別会議で出た主な意見	出席者
富坂	閉じこもりがちになった本人の心身機能の低下を統合失調症の長男が心配し介護保険サービスの利用を提案するが、本人は利用を拒否している。長男は本人を説得できないことや先行きの不安からストレスを抱えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムを崩さず定期的に外出ができて体力を維持し、得意なことを通じて外出意欲を保つ。 ・介護者の役割を再評価し、互いの生活のペースを認め合う。 ・自宅の空き室の活用の検討。 	学識経験者・医師・弁護士・薬剤師・小規模多機能・訪問介護・通所介護・居宅介護支援・作業療法士・理学療法士・地域福祉コーディネーター・障害者就労支援センター・民生委員・区・包括
	必要と思われるデイサービスが導入できず、家族の精神的な負担が増している。仕事一筋で生活してきた本人が認知症により仕事ができなくなり、意欲低下と認知症の進行が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で培った知識やスキルを活かせる場をつくる。 ・本人がやり甲斐に思っていることを通じて地域での交流を図る。 ・意欲低下と体力低下を防ぐために本人のモチベーションにアプローチした専門家の関わりが必要。 	
大塚	<p>①支援を受けつつ一人暮らしを続けていたが、精神的な不安定さをきっかけとして本人の今後の生活について、本人・血縁のある親族・配偶者の親族・ケアマネ資格を有する友人のそれぞれの想いが交錯するケース</p> <p>②親族とも関係性が絶縁状態・介護拒否があるケースの本人支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と連携を図りながら生活支援が出来るように支援チームの形成。 ・行政機関にキーパーソンとなりうる親族の調査を進めてもらい支援に対する判断できる人を増やす、いなければ後見等の事務的な手続きが出来るよう支援する。 ・医療機関との連携調整。 	居宅介護支援・医療相談連携相談員・地域福祉コーディネーター・区・包括

大塚	<p>①介護力が低下してきている妻が、認知症の夫の介護を一人でしているケース</p> <p>②要介護2の認知症の妻と要支援2の難病・アルコール依存の次男、自己破産した長男の3人を支援している高齢の父親が困惑しているケース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート医・社協・認知症相談窓口などの関係者によるサポート。 ・キーパーソンの設定と支援。 ・周辺住民への理解の推進。 ・他職種への連携依頼・相談(障害・都の難病支援など)。 ・難病やアルコール依存に対する理解と治療、今後の生活リスクについての検討。 	居宅介護支援・医療相談連携相談員・地域福祉コーディネーター・区・包括
本富士	<p>①認知症状があり服薬管理が必要になっている事例</p> <p>②認知症がみられる人の医療受診についてどのように進めたらよいか。</p> <p>③外国語が母国語である認知症高齢者へのかかわりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師とCMの連携強化。薬の量や内容調整相談など、介護保険外の地域資源の開発。 ・民生委員、社協、包括など関係者と連携した地域での見守り(近所のネットワーク構築)。 ・介護者である子に対しての支援を検討する必要がある。 ・要介護高齢者の生活問題と地域ネットワークの構築。 ・独居で認知症のある方の医療受診は、初期集中支援チームと連携させていく。 ・外国語コミュニティの開拓、本人の語学能力の活用。 ・異文化理解や交流が出来るような資源の把握と整理。 ・本人の意思決定に対する検討がしやすい仕組みや工夫。 	<p>学識経験者・医師・歯科医師・弁護士・薬剤師・小規模多機能・訪問介護・通所介護・居宅介護支援・訪問看護・金融機関・精神保健福祉士・基幹相談支援センター・地域福祉コーディネーター・民生委員・区(高齢・生活福祉)・包括</p>
	<p>①「認知症があり、糖尿病が進行しインスリン注射が毎日必要で家族負担が大きい」事例</p> <p>②認知症の進行により徘徊あり、飲食の状況把握が困難で、介護保険のサービスが限度を超えている事例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医へインスリン注射から内服治療に切替え可能か治療方法を相談する。可能であれば、薬局やデイサービス、ヘルパーの協力も得て内服管理を行う。 ・認知症サポート養成講座、徘徊模擬訓練を増やし、地域対応力をあげることで地域住民の理解、啓発の普及が進み、地域の見守りに繋がる。 ・介護保険サービスの限度超からデーの見直しを検討し、在宅で最期まで生活することも考える。 	

駒込	<p>①身寄り無し高齢者の死後事務を踏まえた支援について</p> <p>②大家の施設に入所により、住居を出なくてはならなくなり生活環境が大きく変わった認知症独居生活者の支援について</p> <p>③長男の同居により生活スタイルが大きく変化し、支援者の介在が困難になった事案について</p> <p>④認知症により医療処置が困難かつ同居家族の介護が極めて不十分な事案</p>	<p>・包括は、老い支度講座等を通じて、「死後事務については、遺言と遺言執行人の選任で対応できる」「遺言ではカバーできない部分(遺言まで必要ない場合含む)は、死後事務委任契約がある」などの早めの対応について啓発する。</p> <p>・老い支度講座などを通しての本人や地域の方の意識涵養(取り得る方策の周知)</p>	<p>医師・歯科医師・弁護士・薬剤師・訪問介護・通所介護・居宅介護支援事業所主任介護支援専門員・訪問看護・作業療法士・障害者基幹相談支援センター・地域福祉コーディネーター・民生委員・区(高齢・生活福祉)・包括</p>
----	---	---	--

3 連絡会議の開催状況まとめ

圏域	取り扱ったテーマ	報告された主な課題	出席者
富坂	<p>「ゆるやかに低下していく本人に、統合失調症の息子が不安を募らせているケース」をテーマに開催した個別ケア会議で抽出された課題に対し、日常生活圏域レベルで検討する。</p> <p>心身機能の低下で家業の役割喪失状態から自信を回復させていきたいケース</p>	<p>・地域の空きスペースをデータベース化するシステムの構築。</p> <p>・介護施設(特養・有料老人ホーム等)を利用した入浴施設の拡充。</p> <p>・認知症サポーターのような精神障害者サポーター制度の開発と教育。</p> <p>・認知症サポーターの活用範囲の拡充。</p> <p>・仕事を依頼する人、依頼される人、コーディネートする人それぞれのリスクマネジメント項目の整理。</p> <p>・高齢者と仕事のマッチングに公的機関の関与。官民での役割分担。</p>	<p>学識経験者・医師・弁護士・薬剤師・小規模多機能・訪問介護・理学療法士・地域福祉コーディネーター・民生委員・区(高齢・保健)・包括</p>
大塚	<p>地域で見守るネットワークの取り組みと交流の場や方法を考えながらの街づくりを考える。</p> <p>地域で生活する区民の医療と介護を必要とする高齢者や認知症の人を地域で支えるため、切れ目のない在宅医療と介護の連携の取り組みの推進を図る。</p>	<p>・地域活動や居場所づくりにおいて拠点、場所の確保が困難。</p> <p>・「飲食」ができると、誰でも気軽に集まってコミュニケーションをとる場が作れる。</p> <p>・精神科疾患の医療連携(精神科医療との連携・医療保護入院等のシステム化)。</p> <p>・かかりつけ医の重要性と役割についての住民周知。</p>	<p>民生委員・話し合い員・高齢者クラブ・町会役員・薬剤師・消防、地域福祉コーディネーター・区(高齢・地活)・包括</p>

本富士	<p>つながる 見守る 支えあえる地域づくり ①地域の見守り活動の情報共有とネットワークの構築 ②地域で認知症、独居などを支える支援体制構築を図る上での課題出し</p>	<p>・地域の見守り活動 報告、社協のかよい～の紹介を通じて、どう地域の中で繋がりあう仕組みが作れるのかを提起する。 ・認知症の方の意思決定支援について、類型だけでなくその人の成育歴、仕事、嗜好、思いを聞き取り“この人だったらどう望むか？”を尊重して決定していく。</p>	<p>学識経験者・医師・歯科医師・弁護士・消防・薬剤師・小規模多機能・基幹相談支援センター・地域福祉コーディネーター・民生委員・区(高齢・地活)・包括</p>
駒込	<p>①地域における状況変化の察知と対応方法について ②特殊詐欺被害の現状と対策から地域の見守りを考える。</p>	<p>・総じて、状況の変化に気づいた際に、悩まずに通報(相談)できる窓口の周知。 ・包括においては、即応できないとしても、まずは通報を受けつけられる対応力の強化。 ・心配事を気軽に相談できる窓口や相談先の設置と周知(包括でも、敷居が高いという認識が、まだある模様)。</p>	<p>安心ネット連絡会※ (+郵便局・柔道整復師会・訪問マッサージ・配食サービス・訪問介護・高齢者在宅サービスセンター・防災課)</p>

※安心ネット連絡会： ハートフルネットワーク協力機関における見守りの意見交換会。主な参加者は、民生委員・話し合い員・高齢者クラブ・介護相談協力薬局(薬店)・町会連合会・地活所長・警察・消防・高齢福祉課

